

記入例

[A1]助成申請書（著書出版助成）

助成申請書 （著書出版助成）

20××年 × 月 × 日

公益財団法人 KDDI 財団 御中
Nextcom 監修委員会 御中

KDDI 財団策定「著書出版・海外学会等参加助成規程」、および Nextcom 監修委員会策定「著書出版助成に関する監修委員会規程」に従い、著書出版助成を申請します。

1.申請者氏名		2.年齢		3.生年月（西暦）	
ふりがな やまだ はなこ					
山 田 花 子		〇〇歳		19××年×月	
4.機関名（大学等）		5.所属（専攻）		6.職位	
〇〇大学		〇〇学部		准教授	
7.勤務先住所		〒 〇〇〇-〇〇〇〇		T e l	
東京都千代田区〇〇〇		03-1111-2222		E - m a i l	
8.自宅住所		〒 〇〇〇-〇〇〇〇		T e l	
東京都文京区〇〇〇		090-1111-2222		E - m a i l	
9.最終学歴・修了年次		〇〇大学△△学部（××年卒業）		10.学位	
				博士（〇〇学）	
11.主な職歴（過去10年程度）					
〇〇年 △△大学□□学部 講師 〇〇年 △△大学□□学部 助教授 〇〇年 △△大学□□学部 准教授					
12.著書出版物の名称（予定）					
〇〇〇〇〇〇〇〇					
13.出版予定時期		20××年 × 月 × 日			
※本申請書を事務局に提出した翌々年の7月末までを期限とした出版予定時期を記入してください。 ※助成決定後もこの出版予定時期に拘束されますので、ご注意ください。					

例) 2020年9月に申請を行った場合、
2022年7月末までに必ず出版してください。

14.著書出版物の概要（100字以内）
本著は、・・・

15.著書出版物の構成（目次案）
序文 第1章 ○○ 1.○○ 2.○○ 3.○○ 第2章 ○○ 1.○○ 2.○○ 3.○○ 第3章 ○○ 1.○○ 2.○○ 3.○○ おわりに 枠内に収まらない場合は、大まかな章立てのみご記入ください。 詳細は別紙としてご提出ください。

16.出版物の共同執筆者、共著者、編者等がいる場合記入 ※編者・共同執筆者がいる場合、別途、[A④]編者・共同執筆者であることの承諾書の提出が必須です。 ※共著論文を使用する場合、別途、[A⑤]共著論文の使用承諾書の提出が必須です。
共同執筆者 ○○大学△△学部○○教授 ※別途「編者・共同執筆者であることの承諾書」を添付します。 共著論文 △△大学○○学部□□教授 ※別途「共著論文の使用承諾書」を添付します。

17.実施スケジュール（準備段階から実施までを記載してください）		
20××年	×月	執筆済み原稿に加筆修正を加える。
20××年	×月	不足している章の補足等。
20××年	×月	出版社（○○社）へ原稿の提出、校正作業等
20××年	×月	出版
年	月	
年	月	

18.申請者に関わる主な出版物等 ※共著および共同調査研究の場合にはその氏名も明記してください。 1.「〇〇〇〇」〇〇誌△号掲載（〇〇年） 2.「〇〇〇〇」〇〇誌△号掲載（〇〇年） 3.「〇〇〇〇」〇〇誌△号掲載（〇〇年） 4.「〇〇〇〇」〇〇誌△号掲載（〇〇年） 5.「〇〇〇〇」〇〇誌△号掲載（〇〇年） 6.「〇〇〇〇」〇〇誌△号掲載（〇〇年） 7.「〇〇〇〇」〇〇誌△号掲載（〇〇年） 8.「〇〇〇〇」〇〇誌△号掲載（〇〇年）（共同執筆）（〇〇大学△△学部 〇〇教授） 9.「〇〇〇〇」〇〇誌△号掲載（〇〇年）（共著執筆）（△△大学〇〇学部 □□教授）

19.実施経費使途内訳 ※出版社からの見積書があれば、併せて提出してください。		
項目	算出根拠	金額（千円）
印刷費		〇〇〇円
製本費		〇〇〇円
用紙費		〇〇〇円
編集費（校正費）		〇〇〇円
デザイン費		〇〇〇円
献本用書籍購入費		〇〇〇円
その他		〇〇〇円
合計		〇〇〇〇千円

20. 申請日から過去3年間にKDDI財団の助成プログラムに採択された方はその内容を記載してください。 該当がない場合は、次の□にチェックをお願いします。 ☒ KDDI財団からの助成プログラムの受給はありません ※KDDI財団が実施する複数の助成プログラムに対して、同時に申請を行うことはできません。		
テーマ（著書／研究等）	期間（開始・終了）	助成金額

自己推薦書

- ① 著書の主な目的や背景
- ② 他の研究と比べた優位性・新規性
- ③ 本研究の効用
- ④ その他 ……についてご記入ください。 ※箇条書きも可

①目的、背景

A 4 判 1 ページ～1.5 ページ程度、ご記入ください。

②ほかの研究と比べた優位性、新規性

③本研究の効用

◆優先分類での申請の場合◆

KDDI 財団策定「著書出版・海外学会等参加助成規程」、および Nextcom 監修委員会策定「著書出版助成に関する監修委員会規程」に従い、著書出版助成を、別添資料（※）を添えて申し込みます。

☒ 優先分類での申請の場合、左記 ☐ に ☒ を記入

（優先分類：「著書出版助成に関する監修委員会規定」〔監規 A〕第 5 条第 1 項第 A 号第①号又は第②号参照）

【抜粋】

第 5 条 監修委員会は、第 3 条の定める申請対象者であって、以下各号のいずれかに該当する者のうち、助成の価値があると判断される者を、以下の順序に従い、助成対象者として財団に推薦する。

A 以下①又は②のいずれかに該当するもの。

① 情報通信の制度・政策に関連する単行本の著作者（単著又は共著）。

ただし、編集者および翻訳者は除く。

② 情報通信の制度・政策に関連する研究書（博士論文を含む）の著作者。

B 情報通信の制度・政策に関連する単行本の編者（編著）または翻訳者。

2 前項第 A 号第①号または第②号の著作者は、申請書において「優先分類」での申請であることを明示することができる。

（※）別添資料

[A1]助成申請書（著書出版助成） ※必須

[A①]自己推薦書 ※必須

[A②]出版予定原稿（または論文等の綴り）

※「著書出版助成に関する監修委員会規定」〔監規 A〕第 5 条第 1 項第 A 号第②号における「情報通信の制度・政策に関連する研究書」であることを証明する場合、必須

[A③]出版内諾書 ※任意

以上

研究業績および出版予定原稿

Nextcom 監修委員会 御中

申請者名： 山田 花子

研究業績および出版予定原稿は添付のとおりです。

- ① 出版予定原稿の基礎となる研究業績（自著の論文等の綴り）を、別添（次頁）一覧表とともに添付してください。
- ② 出版予定原稿を添付してください。

以上

(研究業績)

申請者が発表した論文につき、現在から過去にさかのぼり、記入してください。

※発表年、執筆者、発表論文名、媒体名、巻数、号数、掲載ページ、査読の有無等を記入してください。

※今回著書の基礎となる論文については「◎」で明示してください

	発表年	執筆者	発表論文名、媒体名、巻数、号数、掲載ページ 等	査読
1	2015	山田 花子	◎ (論文名) ××学会誌、11巻、2号、112-120	有
2	2013	山田 花子	 (論文名) □□学会誌、9号、20-30	無
3	2012	山田 花子 共著：山田 太郎	◎ (論文名) △△△Journal, 10(5), 720-755.	有
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
16				
17				
18				

出版内諾書

20 年 月 日

Nextcom 監修委員会 御中

出版社名 : ○○○出版社
代表者名 : ○○ ○○ 印
〈事務担当者、連絡先〉
事務担当者 : ○○ ○○
Tel : 03-××××-○○○○
E-mail : ○○○@○○.com

貴監修委員会の審査を経て KDDI 財団殿より助成があった場合、下記の出版を内諾しますので、「出版内諾書」を提出します。

記

1. 著書出版物の名称（予定）

○○○○

2. 著者

山田 花子

3. 出版予定時期

20××年 × 月

以上

[A④]編者・共同執筆者であることの承諾書
※編者・共同執筆者がいる場合必須

編者・共同執筆者がいる場合に
ご提出ください

20××年 × 月 × 日

Nextcom 監修委員会 御中

所属： ○○大学 ○○学部
役職： 教授
氏名： 自署にてお願いいたします 印
※自署・捺印のこと

編者・共同執筆者であることの承諾書

山田 花子様 ○○大学○○学部（役職）が申請している KDDI 財団が実施する下記の著書出版助成につき、編者・共同執筆者であることを承諾しています。

記

著書名（仮）： ○○○○○○○○

編者・共同執筆者： ○○○○○○○○
（※全ての編者・共同執筆者を記載のこと）

出版社(予定)： ○○○出版社

出版予定時期： 20××年 ×月

以 上

共著論文を使用する場合に
ご提出ください

20×× 年 × 月 × 日

Nextcom 監修委員会 御中

所属： ○○大学 ○○学部
役職： 教授
氏名： 自署にてお願いいたします 印
※自署・捺印のこと

共著論文の使用承諾書

山田 花子様 ○○大学○○学部○○（役職）が申請しているKDDI財団が実施する下記の著書出版助成につき、著書において共著論文を使用することを承諾しています。

記

著書名（仮）： ○○○○○○○○
共同執筆者： ○○○○
出版社(予定)： ○○○出版社
使用する共著論文： ○○○○○○○○（○○年）

以 上